

学校 教育 目標	健康を見つめ・つくる子 活かし・広げる子			
	○自ら学ぶ楽しさを身に付け、自ら解決する力を育てます。〔知〕 ○自他のよさを実感することで、すこやかな心を育てます。〔徳〕 ○自他の生命を尊び、自らの体を見つめ、進んで健康な体づくりに取り組む姿勢を育てます。〔体〕 ○地域の一員として、「ひと・もの・こと」に積極的にかかわり、自分たちのまちに愛着をもつ子どもを育てます。〔公〕 ○国際社会に視野を広げ様々な「ひと・もの・こと」にかかわり、進んでコミュニケーションを図る子どもを育てます。〔開〕			
学校 概要	創立 93 周年	学校長 中尾 和世	副校長 和田 みずほ	2 学期制 一般学級：20 個別支援学級：4
	児童生徒数： 682 人 主な関係校： 大島中学校・本牧中学校・大島小学校・本牧小学校・本牧南小学校・間門小学校、横浜立野高等学校			

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	大島中・本牧中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
課題解決力 コミュニケーション能力	大島中学校 本牧中学校 大島小学校 本牧小学校 本牧南小学校 間門小学校	ふるさと本牧を担う子どもの育成 ○本牧のまちとかかわりながら学び、街を大切にす子ども ○多様性を尊重し、豊かなコミュニケーション力をもつ子ども ○学習や生活のよい習慣を身に付け、確実に自分の力を伸ばそうとする子ども ----- <input type="checkbox"/> 2中4小の合同授業研究会、情報交換会等の企画・運営 <input type="checkbox"/> 小中ブロック専任や教務主任の情報共有を生かした児童指導及び学校運営 <input type="checkbox"/> 入学ガイダンスや部活動見学による児童生徒の交流 <input type="checkbox"/> 地域の代表的な行事「お馬流し」をはじめとする地域行事への参加 <input type="checkbox"/> 小中学校保護者、児童への学校公開(授業参観の案内 など)

中期 取組 目標	「様々な連携の推進による学校力の向上」「積み重ねてきた健康教育の成果を生かしながらの、新たな教育課題への積極的取組」「生き方につながる資質・能力の育成」を推進していく。 ○本校の特色である健康教育の実践を通して「自ら考え、ともに学び合う子どもの育成」の実現を目指す。 ○OPTAや地域と連携・協働してきた活動を推進し、家庭及び地域の教育力を積極的に活用して学校力のさらなる向上を図る。 ○社会に開かれた教育課程を編制、運営・改善し、未来に向かってたくましく生きていく「まかどっ子」を育成する。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善	①体育科を中心とした研究活動を通して「問題解決とコミュニケーション」を大切に授業づくりに取り組む。②そこから得た課題を他教科にも波及させ、主体的・対話的で深い学びを追究し、子どもたちにとって切実感のある課題設定や学習のゴールや目的意識がもてるような授業展開を工夫する。
担当 研究推進委員会	
徳 道徳教育	①教師が受容的な姿勢で子どもたちとかかわり、信頼関係に基づいた学級経営に取り組む。②道徳科年間指導計画に沿った授業公開を各学級年1回以上実施する。③学級集団の中での様々な経験を通して子どもの自尊感情を高め、他者を受け入れる姿勢を育み、自他を大切にす心を育てる。
担当 指導部 道徳部	
体 健康教育	①基本的な生活習慣の確立や主体的に運動に取り組む子どもの育成を図るために、TV放送を活用した意図的・計画的な指導を行う。②「歯みがき週間」「長なわ大会」「すこやかタイム」の継続的な実施により、生涯にわたって健康に生活するための意識を高めたり、体力向上に進んで取り組めるようにしたりする。
担当 すこやか委員会	
公 自分づくり教育	①校地内の自然豊かな教育環境や地域の材、人とかかわりを生かした学習活動を意図的に行い、他者とかかわりの中で自分の思いを表現できるようにする。②一人ひとりが自己有用感を味わえるようにするとともに、自己の変容を振り返り成長を実感できるようにする。
担当 評価部 生活・総合研究部	
いじめへの対応	①いじめ基本方針に基づき、未然防止はもちろん早期発見・早期対応ができるように、教職員複数の目で確認できるようにする。②事案対応においては、事実を明確にするとともに解決までの過程を児童に寄り添いながら組織的な対応に努める。③YPやアンケートによりいじめの発信や早期発見の機会をもつ。
担当 いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)	①メンターチームの研修の充実を図り、学習指導と児童指導の実践的な研修をする。②主幹教諭を軸にした組織を構築し、学校運営の改善に努めるとともに職員間のコミュニケーションを円滑にしチーム力の向上を図る。③週1回主幹会を開催し、課題の整理と早期対応、業務改善に努める。
担当 教務部 メンターチーム	
特別支援教育	①一般級在籍児童の支援の充実と個別支援学級の活動内容の充実を図る。②合理的配慮に関する職員の理解をより一層進めるために特別支援教育の研修を行う。③全職員で児童に対する指導の方向性を共有しかかわるようになる。
担当 特別支援委員会	
児童指導	①児童指導の方針を全職員で共有し指導を実践するために「間門スタンダード」をもとに指導にあたる。②職員間はもちろん児童とのコミュニケーションを大切に相談体制を充実させ、望ましい行動を引き出し一人ひとりの自尊感情が高められるようにする。③企画会を活用して必要に応じて指導や対応を共有し柔軟に対応する。
担当 児童指導委員会	
地域学校協働活動	①本牧地区2中4小の学校運営協議会を発足し、保護者・地域のサポートを生かした開かれた学校づくりに努め客観的な評価を学校改善に生かす。②既存の「学校づくり懇話会」を「地域学校共同活動本部」として再編し、コーディネーターを軸にした地域の力を教育活動に生かす仕組みづくりをする。
担当 評価部 教務部	
a15	a25
担当	